



厚生労働省
埼玉労働局発表
平成27年5月29日

担 当	埼玉労働局職業安定部職業安定課
	課長 進藤 容子
	課長補佐 木崎 淑子
	電話 048-600-6208 (内線 320, 321)

平成27年度における埼玉労働局・ハローワークの目標値を設定しました

～ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組～

厚生労働省埼玉労働局（局長 阿部 充）では、ハローワークの機能強化を図るため、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく業務改善を実施することとし、平成27年度におけるハローワークのマッチング機能に関する業務の目標値を設定しました。

全国の労働局・ハローワークにおいては、これまでもPDCAサイクルによる目標管理により、業務改善を進め、マッチング機能の強化に取り組んできました。

平成27年度からはこれを抜本的に拡充し、新たに次の取組を一体的に実施することとしました（参考参照）。

- ① PDCAサイクルによる目標管理及び業務改善の拡充
- ② ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価の実施及び公表
- ③ 全国的な業務改善に向けた取組の強化

このことを踏まえ、埼玉労働局においても、就職件数や充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数等に係る目標値（別添1参照）を設定し、この目標の達成に向けて取り組んでいくほか、中長期的な業務の質の向上や継続的な業務改善を図るとともに、成果や評価結果、業務改善の状況等について、利用者にわかりやすく公表することにより、ハローワークに対する信頼の向上に努めることといたします。

平成27年度埼玉労働局及びハローワーク別主要事業目標（1/2）

1、主要指標の目標値

所別 項目	労働局計	川口	熊谷	本庄	大宮	川越	東松山	浦和	所沢	飯能	秩父	春日部	行田	草加	朝霞	越谷
就職件数（常用）※1	59,000	5,893	3,907	1,934	8,242	5,751	1,845	4,707	4,899	1,805	1,674	4,822	2,756	3,869	3,147	3,749
充足件数（常用、 受理地ベース）※2	50,500	5,519	3,768	1,710	7,657	4,545	1,529	4,513	4,444	1,285	1,454	3,155	2,192	3,505	2,331	2,893
雇用保険受給者の 早期再就職件数※3	25,550	2,955	1,249	565	3,851	2,643	797	2,041	2,233	680	293	2,213	1,033	1,792	1,585	1,620

※1：常用とは、雇用期間の定めのない、または、4か月以上の雇用期間が定められているもの。

※2：埼玉県内のハローワークで受理した求人に対して、全国のハローワークからの職業紹介により就職が確認された件数。

※3：雇用保険受給者が、所定給付日数の3分の2以上残して（待期間中や給付制限期間中を含む）就職し、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数。

2、補助指標の目標値

所別 項目	労働局計	川口	熊谷	本庄	大宮	川越	東松山	浦和	所沢	飯能	秩父	春日部	行田	草加	朝霞	越谷
満足度（求人者）	90%以上	全所90%以上														
満足度（求職者）	90%以上	全所90%以上														
紹介成功率（常用）※4	12.1%	11.2%	15.3%	17.7%	9.4%	11.6%	15.3%	10.3%	10.4%	15.7%	25.5%	13.0%	16.0%	14.0%	12.8%	11.9%

※4：埼玉県内のハローワークの紹介件数に対する就職件数（常用）の割合。

3、目標達成に向けた主な取組内容

就職件数	<ul style="list-style-type: none"> 初めて来所される方すべてに対し、ハローワークの支援メニューを説明することを通じて、求職者の状況、ニーズを的確に把握した上で個別担当者制の支援に誘導し、支援を実施する。 正社員雇用の拡大を図るため、正社員限定のミニ面接会・管理選考を積極的に実施する。 全国ネットワークというハローワークの特性を生かし、同一労働市場圏内の他のハローワークと積極的に連携し、広域マッチングを目的とした就職面接会を開催する。
充足件数	<ul style="list-style-type: none"> 求人票の仕事内容が求職者にわかりやすく、かつ、求職者が応募したくなるよう、仕事内容の記載の充実に努めるとともに、求職者が事業所の雰囲気よりイメージしやすくなるよう、事業所の外観や作業風景等の画像を収集し、求人票とともに閲覧できるようにする。 求人受理に当たって、求人条件に合致する求職者情報を積極的に提供して、求人者が求める求職者に応募を勧奨するなど、早期充足に向けた取組を実施する。 人手不足分野における求人充足に向けた取組として、事業所見学会やミニ面接会を積極的に実施する。 求人票の記載内容と実際の労働条件が異なることに起因するトラブルを防止し、労働条件の適正化を確保するため、ハローワークと労働基準監督署において相互に情報提供を行い、適正な求人内容及び労働条件の確保等を推進する。
雇用保険受給者の 早期再就職件数	<ul style="list-style-type: none"> 雇用保険受給者が最初に受講する講習（初回講習）の内容の充実に図り、早期再就職のメリット、基礎的な求職活動への理解促進や個別担当者制による就職支援等を説明し、早期再就職への意欲喚起を図る。 給付制限中の者に対しては、計画的な呼び出しを行うなど、職業紹介に繋げるための職業相談を実施する。

平成27年度埼玉労働局及びハローワーク別主要事業目標（2/2）

4、所重点指標の目標値

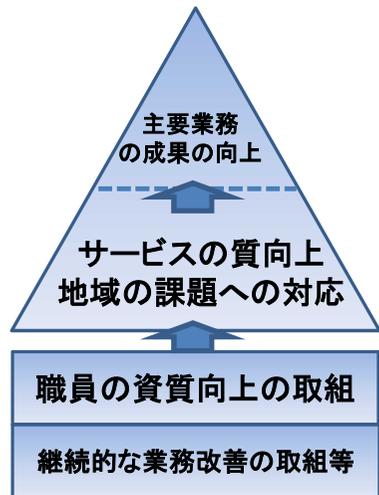
所別 項目	労働局計	川口	熊谷	本庄	大宮	川越	東松山	浦和	所沢	飯能	秩父	春日部	行田	草加	朝霞	越谷
生活保護受給者の 就職件数	4,310	352	193	115	845	270	77		352	77		193	193	355	270	231
障害者の就職件数	3,155	259	210	88	498		94	308	308	100	41	229	135	229	159	177
学卒ジョブサポーター の支援による 正社員就職件数	5,623	275		47	2,023	377	356	609	329	255	47	114		75	232	
ハローワークの職業紹介 により正規雇用に結びつ いたフリーター等の件数	10,403	720	943	456	1,189	1,234		849	1,070	362		890	364		497	537
公的職業訓練の 終了3か月後の 就職件数	1,434										15					
マザーズハローワーク事業 における担当者制による 就職支援を受けた 重点支援対象者の就職率	87.5%	87.5%	87.5%		87.5%	87.5%		87.5%	87.5%							87.5%
正社員求人数	135,202	13,947	7,621		30,326	11,621	2,823	9,926	12,889			8,646	5,772	9,973		
正社員就職件数	31,887				4,420	3,201										
介護・看護・保育分野 の就職件数	6,700	500			765	701		503								
建設分野の就職件数	2,320				290											

注：各ハローワークが、それぞれ取り組む指標の中で、特に重点的に取り組むこととした指標のみ目標値を記載してあります。

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組(就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度中に、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。
 - 重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導(評価期間終了後)
 - ③好事例は全国展開(評価期間終了後)
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

(1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職件数
- 求人充足件数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査
- 紹介成功率

ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職件数
- 正社員求人数
- 生活保護受給者等の就職件数 など

(2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況を評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- 好事例を導入した業務改善を実施 など

総合評価の方法

総合評価は年度単位で実施する。年度終了後に、ハローワークごとに、年度合計の指標・項目の実績をポイント化し、それを合算して、評価する。

①年度当初に定めた目標への達成状況を基に、指標ごとに、予め定められたポイント数の範囲内で、ポイントを付与する。

A指標の目標達成率



A指標のポイント数



〇〇ハローワークの
A指標のポイント

※目標達成状況によるポイントは、所重点項目を除く各指標(主要指標・補助指標・所重点指標)について計算。

②業務実績が例年より上回った場合に、ポイントを付与する。

※主要指標について、過去3年間の実績と比較し、過去3年間の平均を上回る場合にポイントを付与。

③所重点項目の実施状況を基に、ポイントを付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合にポイントを付与。

①～③のポイントを合計し、ハローワークごとに、総ポイント数を計算する。

類似するハローワークからなるグループ内で、総ポイント数等を比較し、評価する。

※労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分類。

※評価は本省で実施し、評価結果を労働政策審議会に報告。

※評価結果は、ハローワークにおいても、実績値、業務改善事項、総合評価結果(4段階)等をまとめて公表。